JIAD
JAPAN INSTITUTE FOR ADVANCED DENTISTRY

公益社団法人 日本歯科先端技術研究所

2025年度 学術講演会

歯科医院で取り組む検査・診断

2026年3月7日(土) 16:00～18:00
3月8日(日) 9:00～16:00

開催場所: ステーションコンファレンス東京 参加費 会員・会員スタッフ：無料 非会員：3,000円
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 6階

3月7日(土) 司会：遠藤 富夫

開会の挨拶：柴垣 博一会長　閉会の挨拶：木村 英一郎副会長

会員発表 16:10～18:00

座長：山根 晃一・春日 太一

寺崎 堅登

吉川 修平

下野 秀虎

新木 嗣人

座長：富口 直樹・柳瀬 正和

浜口 潤也

漆原 剛起

新海 正碁

三宅 史恵

18：30～ 意見交換会 Bar of TOKYO 丸の内トラストタワー店

3月8日(日) 司会：船木 弘

開会の挨拶：柴垣 博一会長　閉会の挨拶：野村 智義副会長

会員発表 9:10～11:00

座長：野村 智義・遠藤 富夫

老川 秀紀

竹島 明道

三輪 武人

野本 秀材

市民公開講座 11:00～12:00 座長：山田 晴樹

検査・診断での歯科衛生士の役割

福田 知恵子先生

- 株式会社チーフサポート 代表取締役
- Dental MI 研究会　歯科における動機づけ面接スタディグループ主催
- (公社) 日本歯科先端技術研究所 歯科衛生士・技工士委員会 副委員長

特別講演 13:00～16:00 座長：奥森 直人・吉野 晃

鷹岡 竜一先生

略歴
- 1990 年日本大学歯学部卒業
- 同年鉄鋼ビル歯科診療所勤務（宮地建夫先生に師事）
- 1995 年現在地に開業

所属スタディグループ
- 火曜会・臨床歯科を語る会
- 日本歯科医師会雑誌編集委員（2015 ～）

著書
- ぼくの開業日記 , 医歯薬出版 , 東京 ,2000.
- X 線写真クイズ～ 1 枚のデンタルから何を読み取るか？～ , 医歯薬出版 , 東京 ,2019. 他

X線写真の心得 ～規格性のあるX線写真の意味を考える～

X線写真は日常臨床では欠くことのできない大切なツールである。疾病を診断するためにはもちろん、患者への説明でも大いに力を発揮する。また選択された治療方針・行われた処置内容の検証に必要であり、メインテナンスに移行すれば、新たな問題発見・再治療の時期の決定という役割も担っている。さらに学会やスタディグループに参加して情報収集や情報発信する際にも、第一に必要になる基礎資料である。

映し出されるX線写真にはカリエスやエンド病変、ペリオに冒されている歯や歯周組織が投影されており、議論の中心は病気の見立てや治療方針になりがちだが、読影の前にいま一度、そのX線写真が適切なX線写真なのか否かという議論をしておきたい。X線照射量、X線写真の位置付けやアナログX線写真であれば現像処理、X線写真の保存管理などにおける些細なことが、X線画像の細部にまで影響を及ぼすことを理解しておきたい。

また歯科疾患は慢性タイプの連続性疾患で未来が読みにくいという特性があり、私たちは未来を知りたい患者に未来が読みにくい疾病の行く末を伝えるという難題を背負っている。
未来が容易に掴めないとすれば、私たちは侵襲を控えめにして時間経過の中で生体の反応を観察することが必要で、規格性のあるX線写真の蓄積が歯科疾患への対応基盤になる。つまりX線写真の質そのものが歯科医院の総合力を反映しており、臨床レベルを支えていると言っても過言ではない。もちろん生体の変化を見逃さない術者の観察力の訓練も必須事項である。

本講演では、臨床記録の代表であるX線写真について質の高いX線写真を得るために必要な知見を整理するとともに、X線写真が経時的に積み重ねられた時に実感する臨床観察の意味を考えてみたい。

お問い合せ先
(公社) 日本歯科先端技術研究所
TEL:03-5476-2004 FAX:03-5476-2006
E-mail:nissenken@dental.email.ne.jp

(公社)日本歯科先端技術研究所 2025年度 学術講演会参加申込方法

下記必要事項をご記入の上、2026年2月27日までにＱＲコードまたは日先研ホームページより申込みをお願いします。
(https://www.nissenken.org/)

必要記入事項 ①氏名 ②氏名かな ③所属医療機関、診療科 ④所属医療機関住所 ⑤所属医療機関電話番号 ⑥e-mail ⑦連絡先電話番号 ⑧ 会員・非会員

※講演抄録は日先研学術会誌または日先研ホームページを参考にして下さい。